



高山西ロータリークラブ

No. 2336 例会 平成 26 年 1 月 24 日

クラブアッセンブリー

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 山下 明
- 幹事 寺田 昌平
- 会報委員長 堀川 和士



小林 勝一

<会長の時間>

◎インフルエンザはどうして毎年冬に流行するのか
(鴨ネギでなく、鴨インフルなので)



・インフルエンザには A 型、B 型、C 型 (ほとんど発症しない) の 3 つがあります。新型ウイルスが懸念されるのはこのうちの A 型であり、A ウイルスはヒトを含む哺乳動物と鳥類に広く分布しています。遺伝子解析によって、このヒトと動物の A ウイルスはすべてカモ由来ということが解明されてきました。

・カモが運び屋であり、増殖屋であり、かつカモは自然宿主のため発症しません。インフルエンザウイルスは北方の湖沼で凍結保存されるので絶えることがなく、受け継がれることが判明しました。秋にシベリアなどから渡ってきたカモは冬、日本で過ごし、春にはシベリアなどに帰ります。シベリアなどの湖は春に氷が解け、その水を戻ってきたカモが飲み、再び感染し、カモの中でインフルエンザウイルスが途方もなく増殖し、秋に日本に渡りインフルエンザを撒き散らすということが繰り返されているからです。

◎しかし、鴨などの鳥由来のウイルスは本来ヒトには感染しません

・一般的には鳥からヒトへの直接感染は起こり得ないと考えられています。感染ルートはカモ→アヒル→ブタ→ヒトなのです。ブタが必ず中間宿主の役割をはたします。過去 4 回起こったパンデミック、スペイン (ソ連) 風邪 H1N1、アジア風邪 H2N2、香港風邪 H3N2、そして 2009 年の新型 H1N1pdm09 もカモ→アヒル→ブタ→ヒトの感染ルートでした。新型 H1N1pdm09 は季節型になって今年も流行しています。

◎鳥インフルエンザについて

・カモ由来のインフルエンザウイルスは、本来ニワトリには感染しないのですが、ウズラ、シチメンチョウ、ガチョウなどに受け継がれると、その中からニワトリにも感染するウイルスが出現します。ニワトリの間で次々と感染を繰り返すと、ニワトリに対する病原性を獲得することがあります。いわゆる高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N1) の出現です。

・高病原性鳥インフルエンザ H5N1 はニワトリに感染し、ニワトリが大量に死亡するニワトリの病気なのです。ほとんど人への感染はなく (一部は人に感染することはあるが)、ブタへの経路が今の所ないとされているので、大流行しないというのが専門家の圧倒的な意見であります。

・今一番問題になっている鳥インフルエンザは弱毒性鳥インフルエンザ H7N9 であります。この A ウイルスは弱毒性ということで、ニワトリにはほとんど症状がなく (H5N1 とは対象的である)、ヒトへ感染しにくいとのことでしたが、ブタへの感染の可能性もできていて、パンデミックの可能性が高くなってきているのです。

◎今後予想される新型インフルエンザについて

・4 回目のパンデミック 09 の 10 年後以降、即ち 2019 年以降というのがインフルエンザ専門家のほとんどの意見であります。

・新種の香港型 H3N2 や、アジア風邪 H2N2 が次のパンデミックになるのではないかとされています。

・ブタにはまだ流行がないが、鳥インフルエンザ H7N9 の可能性も浮上してきています。

◎新型インフルエンザ特別措置法の問題点

・2009 年のパンデミックのあと、平成 24 年 5 月、野田内閣のとき法律が制定され、平成 25 年 4 月に施行されました。この時点で厚労省は高病原性鳥インフルエンザ H5N1 のパンデミックを想定し、H5N1 のワクチン量産体制に入り、流行が拡大する前に医療関係者に先行的にワクチン接種させる体制作りを本格化しています。しかも外出制限、集会制限など相当極しい危機管理が列挙され、日本弁護士連合会、日本ペンクラブなどは人権問題として反対しています。

・パンデミックになると予想される H5N1 の可能性は専門家の間では低いといわれ、そしてかつ H5N1 ワクチンの副作用が強いということや、外出制限、集会制限が流行拡大防止に有効かどうか疑わしいなど、この特別措置法は問題だらけだということを知ってほしいのです。

<幹事報告>

◎ロータリー囲碁同好会
日本支部より

- ・『第 15 回ロータリー国際囲碁大会』開催のお知らせ



日時 4 月 19 日 (金) 17:30 歓迎晩餐会、
20 日 (日) 9:00 対局、18:00 表彰式

会場 台湾・中歴市 南方荘円渡假飯店

主催 ロータリー囲碁同好会

登録料 12,000 円 (晩餐会、賞品等含)

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

例会報告

◎ロータリーの友事務所より

- ・「ロータリーの友」電子版のご案内
「ロータリーの友」ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
から「ロータリーの友」電子版へ

◎高山デンバー友好協会より

- ・第48回スーパーボウル進出デンバー・ブロンクス応援
パブリックビューイングについて(ご案内)
日時 2月3日(月) 8:00~ *試合開始は8:30
会場 高山市役所2階203会議室

<受贈誌>

台北市松年福祉會(玉蘭荘だより)|

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40名	10名	50名	50名	100.00%
本日	38名	-	38名	50名	76.00%

<本日のプログラム> クラブアッセンブリー

SAA 小田 博司

こんにちは、SAA長 小田です。
副長に垂井さん 監督員 小林さん、大村さん、長瀬さん、向井さん、中島さん、の7名で進めています。

会長方針に基づき、例会時の雰囲気づくりとして進めて半年経過

しました。皆様がすでに見ておられますので、その賛否についての考えはいろいろあるかと存じます。このまま6月まで続けてまいります。よろしく願いいたします。本日の花のテーマは、玄関先の松飾りの松を取り崩して、南天をあしらった物です。

改めて1点のお願いをしたいと存じます。欠席する場合の事務局連絡です。

@例会当日午前10時までには連絡する。

なるべく弁当の無駄を失くしたいと考えています。現在は、10時以降の欠席連絡は、弁当の注文の関係上、無断欠席といたし、フアインとして2,000円をいただいております。金曜日の朝は、予定を再確認していただき、早めに決断の上、事務局にその旨をお知らせください。



クラブ奉仕委員長

井辺 一章

委員長：井辺 一章、副委員長：脇本 敏雄、委員：堀川 和士、堺 和信、内田 幸洋、遠藤 隆浩、古橋 直彦、新田 敬義

上半期の事業全て計画通り進みました。ただ一回クラブ奉仕委委員会担当例会時の10月11日(金)大下大圓氏にスピーチを頼んでいたのが急遽キャンセルとなり会長にスピーチをお願いした事があり、下半期は絶対無きように努力いたします。

会報委員長 堀川 和士

委員長：堀川 和士、
副委員長：下屋 勝比古、
委員：新田 敬義、菱川正臣。
方針



- ① ゲストスピーカー及び会員の皆様の原稿は半年間、遅滞無く頂きありがとうございます。後の半年間も引き続き、次週の火曜日中に提出して頂くようお願いします。
- ② 会員の日常をホームページのトップに掲載しておりますが、後半の撮影も順次、お邪魔しますので掲載されていない会員は心づもりをお願いします。
- ③ きたる来月の2月14日は、会報委員会の担当例会です。ゲストスピーカーとして高山 として名古屋テレビの取材や外国人向けのオプションツアーを手掛けていらっしゃる飛騨映像サービスの住田氏を予定しております。



親睦活動委員長

堺 和信

基本方針は、「会員相互の親睦を第一の目的とし、楽しいロータリーとする」です。

昨年8月10日に、恵の久江名子店にて「納涼ゆかた例会」を開催いたしました。ミュージックブックの4名のフルート奏者による生演奏を聴いていただきながら、生ビールと冷酒を飲んでいただき、楽しい時間を過ごしていただきました。ただ、参加人数が30名程で少し寂しい気がいたしました。今年の1月13日には「新年家族例会」を高山グリーンホテルで行い、参加者も70名とたくさんの方に参加をしていただき、余興をはじめとして大変もりあがり楽しい時間を過ごしていただきました。5月17日の「新緑例会」では、モンデウス位山においてハイキングを予定しています。これらの総事業費として130万円の予算を計上しております。残りの例会におきましても、多くの会員の方々が参加していただくことを期待しております。

そのほかにも、月初めの例会において、「会員誕生日」「夫人誕生日」「結婚記念日」「出席表彰」「在籍周年記念表彰」の発表とともに、お祝いの品・記念品をお送りしています。

また、月ごとの交代で例会場の委員会席を担当し、例会ごとの交代でドアチェックの担当を委員会全員により行っています。

ロータリーを實踐しみんなに豊かな人生を

例会報告

ニコニコ委員長

内田 幸洋

委員会全員で運営することに重点を置き、また金額目標を年間 100 万円と決めました。その結果 12 月末の半期で、投函・表彰・ファイン等含めた総額が 635,370 円と目標クリアしました。投函件数 303 件一会員当たり約 6 件、投函金額 40 万円で一会員当たり 8,000 円でした。

担当例会は郷土史家の清水喬雄氏を招いて飛騨高山の江戸時代の文化人について講話をいただきました。



社会奉仕委員長

田中 正躬

今期活動計画 5 項目の内、4 つを済ませました。

○ゲストスピーチ

9 月 13 日 日赤院長

棚橋忍先生

11 月 15 日 高山保健所長 杉山貴洋先生

12 月 13 日 久美愛病院院長 堀明洋先生

それぞれ仕事以外の趣味など私的事についても御話される。

○高山西ロータリー杯ミニソフトバレー

8 月 4 日の試合に備え、7 月 4 回の練習を山王フラワーズの例会に参加させて戴く。

8 月 27 日にはお酒を酌み交わしながらの反省会を行う。

3 月 9 日の大会に備え現在新井典仁さんにまとも役をお願いしている。今回も山王フラワーズの例会に御世話になりたいと考えています。井上さんの御母さんに特に御世話になります。



出席・プログラム委員長

新田 敬義

9 月 6 日中部運輸局の観光部門での取り組み「昇龍道」と、これからの自動車への取り組みと題して、岐阜運輸支局 飛騨自動車



検査登録事務所長 榎本 政信様に卓話を頂きました。内容は例会報告 No2318 をご参照ください。

出席状況については上半期 24 回の例会がありました。100% は 5 回ありました。メーキャップで出席率向上をお願いします。

職業奉仕委員長

洞口 良一

職業奉仕委員長の洞口です。今年度副委員長に堀川さん、委員に堺さん、垣内久男さんの 4 名で委員会を進めています。



上半期の活動は 9 月 20 日に(株)キタニジャパンさんへ職場訪問させて頂きました。西ロータリーの会員であります東さんには、キタニジャパンさんの東京支店に勤務してみえる中で、この日の為に帰ってきていただき、会社の概要説明と工場・展示場等を見学させて頂きました。東さんはその日夕方から忙しかったようで、トンボ帰られました。大変なご苦勞をかけたと思っています。

下半期には 3 月 28 日の担当例会に、千光寺住職 大下大圓さんのゲストスピーチを予定しています。以前別委員会で予定されていましたが色々な都合でこの日に変更となった経緯がありますので、その時の講師紹介は山下会長にお願いすることになっています。以上報告といたします。

<ニコニコボックス>

●山下 明さん

皆様のご協力でクラブ活動を半分消化しました。後半に向けて頑張る所存です。本日のプログラムはクラブアッセンブリーです。各委員長さん宜しくお願いします。

●寺田 昌平さん

・本日と来週の例会プログラムはクラブアッセンブリーです。各委員長さん宜しくお願いします。
・SAA小田さん、大寒の時期に各テーブルに松と南天ご配慮頂きありがとうございます。

●岡田 賛三さん

岐阜新聞に飛騨木工連会長として新年の抱負が載りました。

●野戸 守さん

新年懇親会を欠席で失礼しました。

●新田 敬義さん

誕生祝いありがとうございます。

●古橋 直彦さん

誕生日のお祝いを頂きありがとうございます。本日は早退します。

●狹土 貞吉さん

会報に元気な顔をした私の写真が出ていましたので。早退します。



ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を